

焼却施設の維持管理に関する記録

平成28年度

1 処分した廃棄物の各月毎の種類、数量

種類		家庭系一般廃棄物及び事業者一般廃棄物のうち可燃ごみ(破碎可燃残渣等を含む)													
区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度計	
焼却量	1号炉	t	840.94	913.13	854.49	862.77	918.59	893.78	509.53	792.79	869.08	704.29	371.31		8,530.70
	2号炉	t	825.16	948.28	885.13	791.30	914.65	903.36	729.69	511.00	864.70	713.46	633.42	1,101.43	9,821.58
	3号炉	t	839.01	956.86	886.70	801.16	917.59	897.16	849.39	814.97	520.54	564.78	481.28	1,093.55	9,622.99
	合計	t	2,505.11	2,818.27	2,626.32	2,455.23	2,750.83	2,694.30	2,088.61	2,118.76	2,254.32	1,982.53	1,486.01	2,194.98	27,975.27

2 燃焼室中の燃焼ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度(すべての日平均の月平均値)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
燃焼室中の燃焼ガス温度	1号炉	℃	924	924	920	914	916	919	910	916	918	910	915		917
	2号炉	℃	932	932	924	917	915	922	918	918	920	911	918	933	922
	3号炉	℃	932	933	930	924	927	930	927	932	927	909	921	933	927
集じん器に流入する燃焼ガス温度	1号炉	℃	180	180	180	181	180	180	180	180	180	180	180		180
	2号炉	℃	181	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
	3号炉	℃	180	180	180	180	181	180	180	180	181	180	180	180	180
排ガス中の一酸化炭素濃度	1号炉	ppm	14	21	17	19	21	22	22	20	17	16	16		19
	2号炉	ppm	8	9	8	7	7	8	6	7	7	6	6	7	7
	3号炉	ppm	8	9	10	9	9	10	9	9	10	8	7	8	9
備考			連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	

- ※1 フロー図上の1にて測定
- ※2 フロー図上の2にて測定
- ※3 フロー図上の3にて測定

3 冷却設備、排ガス処理施設に堆積したばいじんの除去を行った日

冷却設備		年月日	年月日
減温塔	1号炉	H29年2月14・15日	
	2号炉	H29年2月20・21日	
	3号炉	H29年2月7・8日	
排ガス処理設備		年月日	年月日
ろ過集じん器	1号炉	H29年2月16日	
	2号炉	H29年2月22日	
	3号炉	H29年2月10日	

4 ばい煙又はばい煙濃度測定結果

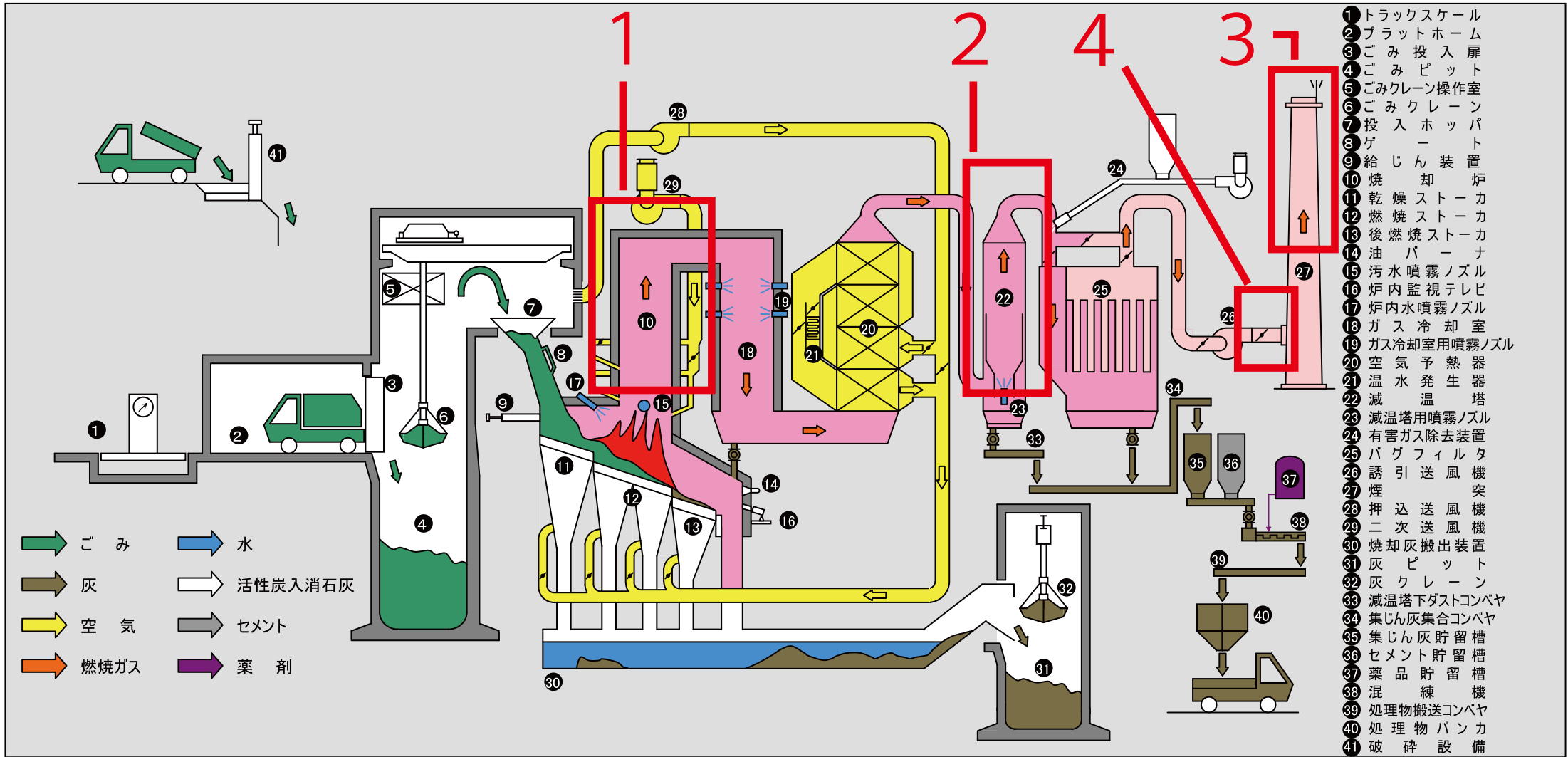
区分	規制値		単位	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉
	法規制値	自主管理値		1回目	1回目	1回目	2回目	2回目	2回目
排ガスを採取した年月日	-	-	-	6月13日	6月13日	6月13日		3月1日	3月2日
結果の得られた年月日	-	-	-	6月28日	6月28日	6月28日		3月28日	3月28日
硫黄酸化物濃度 K値=17.5	73		m ³ /h	0.78	0.38	0.41		0.21	0.16
ばいじん濃度	0.04		g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満	0.001未満
塩化水素濃度	700mg/m ³ N		ppm	180	120	97		55	39
窒素酸化物濃度	250		ppm	75	81	66		66	68

※4 フロー図上の4にて測定

5 排出される排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

区分	規制値	単位	1号炉	2号炉	3号炉
			1回目	1回目	1回目
結果の得られた年月日				3月1日	3月2日
排ガス中のダイオキシン類濃度	0.1	ng-TEQ/m ³ N		0.00065	0.0035

プラント系統図



- 1 トラックスケール
- 2 プラットホーム
- 3 ごみ投入扉
- 4 ごみピット
- 5 ごみクレーン操作室
- 6 ごみクレーン
- 7 投入ホッパ
- 8 ゲー
- 9 給じん装置
- 10 焼却炉
- 11 乾燥ストーカ
- 12 燃焼ストーカ
- 13 後燃焼ストーカ
- 14 油バーナ
- 15 汚水噴霧ノズル
- 16 炉内監視テレビ
- 17 炉内水噴霧ノズル
- 18 ガス冷却室
- 19 ガス冷却室用噴霧ノズル
- 20 空気予熱器
- 21 温水発生器
- 22 減温塔
- 23 減温塔用噴霧ノズル
- 24 有害ガス除去装置
- 25 バグフィルタ
- 26 誘引送風機
- 27 煙突
- 28 押込送風機
- 29 二次送風機
- 30 焼却灰搬出装置
- 31 灰ピット
- 32 灰クレーン
- 33 減温塔下ダストコンベヤ
- 34 集じん灰集合コンベヤ
- 35 集じん灰貯留槽
- 36 セメント貯留槽
- 37 薬品貯留槽
- 38 混練機
- 39 処理物搬送コンベヤ
- 40 処理物バンカ
- 41 破碎設備

→ ごみの流れ

一般家庭から収集されたごみは、収集車によりこの環境美化センターへ運ばれ、プラットフォームよりごみピットに投入されます。一旦ピットに貯留されたごみは、クレーンによって投入ホッパに供給され、焼却炉内に送り込まれ焼却されます。

→ 灰の流れ

焼却炉にて焼却された灰は、焼却炉搬出装置へ落下し、灰ピットに貯留した後、灰積出車にて搬出されます。減温塔、バグフィルタより排出された灰は、コンベヤで集塵灰処理装置へ搬送し、集塵灰処理装置にてセメントおよび薬品を添加することで固型化処理を行うことを行い、処理物バンカに貯蔵した後、灰積出車にて搬出されます。

→ 空気の流れ

ごみ焼却用の空気は、押込送風機によりごみピット室から吸い込み、空気予熱器で加熱した後、各ストーカの下から炉内へ供給されます。再燃室で燃焼促進のための空気は、二次送風機により炉室内から吸込み、炉内へ供給されます。

→ 燃焼ガスの流れ

ごみ焼却により発生したガスは、ガス冷却室、空気予熱器、減温塔で減温された後、有害ガス除去装置、バグフィルタによって、ガス中の有害成分及び煤塵が除去され、清浄ガスとなって誘引送風機にて煙突より大気に放出されます。